

第2回宮津市都市計画マスタープラン策定委員会 議事録

- **日時** 令和2年9月18日(金)午後3時～
 - **場所** 宮津市役所 別館3階 第5会議室
 - **出席者** (11名中9名)
 - 谷口 知弘 (福知山公立大学地域経営学部地域経営学科教授)
 - 今村友里子 (舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科講師)
 - 谷口 政史 (宮津商工会議所副会頭)
 - 高松 和子 (宮津市子育て支援センターセンター長)
 - 藤本 長壽 (宮津市自治連合協議会副会長)
 - 今中 睦美 (宮津市農業委員会委員)
 - 小倉 信彦 (一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社天橋立地域本部本部長)
 - 黒岡 芳子 (宮津市地域女性の会会長)
 - 小野 孝司 (京都府丹後土木事務所技術次長)
 - ※欠席 井上 真哉 (京都府建築士会宮津支部常任幹事)
 - 嶋崎 豊 (宮津市水産振興会会長)
 - **事務局**
 - 山根 (建設部長)
 - 中嶋 (建設部都市住宅課長)
 - 稲葉 (建設部都市住宅課都市計画係長)
 - 石田 (建設部都市住宅課都市計画係)
-

1. 開 会

2. 部長挨拶

3. 議 事

- (1) 第1回宮津市都市計画マスタープラン策定委員会の意見と対応について
 - (2) 新宮津市総合計画の策定状況について
 - (3) 宮津市の概況、地域別の現況と地域特性、将来目標の設定について
- 事務局より説明の後、委員による意見交換

【意見概要】

(1) 第1回宮津市都市計画マスタープラン策定委員会の意見と対応について

- ・この先、実施する必要がないもの（事業）は記載しない、必要があるもの（事業）は記載するなど、次期マスタープランに向けしっかりと検証してほしい。
- ・引き続き、この策定委員会でも意見を言っていきたい。

(2) 新宮津市総合計画の策定状況について

- ・名称だけ変えれば、どこの市でも使えるようなものにならないよう、宮津市らしい総合計画にしてほしい。

(3) 宮津市の概況、地域別の現況と地域特性、将来目標の設定について

<現状について>

- ・いろいろな指標があるが、将来の目標を立てる上で、これらの要因は分析できているのか。もう少し踏み込んだ要因分析が必要でないか。（卸売業等の半減、昼間人口比率が高い要因）
- ・今は高速道路もつながり、京阪神まで1～2時間で通勤できるようになった。また、都会の人の通勤時間は同じく1～2時間はかけており、宮津をいい地域と感じれば、宮津に人が戻ってくる可能性はあると思う。

<これからについて>

(地域資源について)

- ・宮津の素晴らしい景観や地域産業など残すべきものはしっかりと残す。市外に出ていった子どもたちが故郷に戻ってきて、仕事（生業）ができるようにしていくべき。少し思い切って、企業誘致を行うなどすべきと思う。

(仕事について)

- ・人口が減っていく中で、都会への流出を止めるためにも働く場が必要。
- ・宮津市は、観光というのはわかるが、アフターコロナなどを考えると、「観光」だけで進むのは危ない気がする。企業誘致などを行い、働く場も多く、選択肢があるまちにしないといけないのではないかと思う。

(アフターコロナ)

- ・コロナの影響で、観光面として、団体バスや公共交通の利用者が激減した。そのため、マイカーでの観光が増加し、市街地や文珠で渋滞が発生し、地域住民へも影響している。渋滞対策として、駐車場や道路の整備につながるのかと思う。
- ・定住人口の減少が言われているが、コロナの影響により、こちらで仕事をする人も増えている。こうした人たちへの支援も必要かと思う。
- ・アフターコロナで、生活の様式が変わっていくと思うが、みんなが本当に豊かに暮らしていくことはどういうことか考えることが大事と思う。また、そういう豊かさを教えていくことが、戻ってきてくれることにつながるのではないかと思う。

(子育てについて)

- ・自分たちの地域を大事にするためにも、地域の素晴らしさなど子供への教育が必要。そうしなければ、優秀な若者は便利な都会に出ていき、高齢者ばかりになっていくのは止まらないと思う。
- ・出生人口はどんどん減る一方の中、保育園（幼稚園は含まない）の利用人口は減っていない。これは働く保護者、仕事を求める保護者が増えてきたということ。この部分を何とかしていくことが、出生人口を増やすことや住みやすい街づくりにつながるのかと思う。
- ・ミップル4階にある子育て支援センターの利用について、利用者から好評である。使用料が無料のため、使用料を徴収してはとの意見もあるが、来場した方が、ミップルの中で食事や買い物をされる等、間接的にはあるが、宮津市にお金を落としている。都市計画マスタープランの策定についても、目先の話だけではなく、長い目、広い目で考えていってほしい。

<社会資本について>

- ・宮津市は道路、上下水道などの社会資本はほとんどできていると思う。
- ・今後は、浸水・内水対策として都市下水路などを実施していかないといけないと思う。
- ・財政難ではあるものの、災害リスクの高いところを減らしてくという考えも、まちづくりとして配慮してほしい。

<都市計画について>

- ・都市計画道路は、規制により、道路が広がる可能性を誘導していく制度であり、まちづくりを進めるために残しておいてもよかったと思うが、平成29年度の見直しによりほとんどが廃止された。
- ・用途地域は都市計画道路網との関係性が深い。用途地域の見直しにあたり、都市計画道路網についても再度検討をしてはどうか。
- ・人口減少対策として、働ける場所を新たに設けることは必要。そのために企業誘致は大切であり、用途地域の影響も大きいため、しっかりと考えること。
- ・用途地域の議論をする際には、問題として起こっていることを具体的に示していただきたい。